

No. 3

提案するアイデア1「公共地に読書カプセルと返却ポスト」

趣旨

図書館の読書室が味気ない。利用者が仮にいても読む人より図書の方が主役の感がする。またいてもお年寄りの男性が多い。もっと若い人に読書を楽しんでもらう、若い人に読書の楽しみを取り戻す新たな工夫が必要ではないか。まちづくりの一環として取り組めれば最高である。

コンセプト

憩いと読書の融合ー読書の多様な楽しみ方ー

内容

(1) 図書館や地区センター、公民館の庭、公園、緑地スペースに読書が出来るカプセルを多数設ける。

(2) カプセルは透明を基本とするがごく薄い赤やピンク、黄緑、ブルーなど色とりどりのものとしてよい。薄めな色なら周囲に溶け込みむしろ模様になる。回りを眺めて楽しめると同時に、逆に外から注意の目が届き事故防止などが図れる。

(3) カプセルの中には本棚と座れる工夫がある。複数人座れるものも用意し仲間で楽しめるようにする。

(4) 本は定期的に入れ替えるが、持ち込みでもよい。図書館から借りた本を読み終わった場合は、スペース内にある返却ポストに入れる。返却ポストはイエローなど象徴的な色のものを設置する。

メリット

(1) 公共緑地スペースの都市的利用がさらに促進される。

(2) 若い人の読書が促進される。